

開催報告 在宅医療・介護ICT連携推進事業「ナラティブブック秋田」 平成29年度第2回患者・家族向け説明会

平成29年10月7日（土）午後1時30分より由利本荘市ポートプラザ「アクアパル」にて「在宅医療・介護ICT連携推進事業／ナラティブブック秋田 第2回患者・家族向け説明会」が下記の内容にて開催され、30名が参加した。

最初に、由利本荘医師会の渡邊 廉会長より開会の挨拶が行われた。

続いて、ナラティブブック秋田運営委員会委員の伊藤伸一氏より事業説明が行われた。

その後、「地域を多職種でつなぐ～語り継ぐいのちとものがたり～」と題して、一般社団法人ナラティブ・ブック 代表理事（医療法人社団ナラティブホーム 理事長／富山県砺波市・ものがたり診療所所長）の佐藤伸彦氏をお招きし、漢字の「命」とひらがなの「いのち」について考え、双方のバランスを保つために、ものがたりの力が必要であるという先生のお考えについてご講演いただいた。

休憩の後には、「地域の医療・介護：ナラティブブック秋田のもつ『ちから』」と題して、由利本荘医師会副会長の伊藤伸一氏より、ナラティブブックが目指す患者本位の想いまで共有する在宅医療における情報共有に関して、これまでの取り組みやテレビの取材番組の放送をもとに、実際に利用している場面を示しながら説明された。

続いて、ナラティブブック秋田の事例として、運営委員の鈴木知栄子氏が訪問看護師の立場から、運営委員の菊池幸恵氏が介護支援専門員の立場で発表された。

その後、東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学講座特任研究員の岡崎光洋氏より情報共有におけるICTの活用について説明された。

最後に、「地域の医療・介護：ナラティブブック秋田のもつ『ちから』」をテーマに、パネルディスカッションが行われた。

<<説明会プログラム>>

司 会：ナラティブブック秋田運営委員会
委 員 伊藤伸一

1. 開会の辞

由利本荘医師会 会 長 渡邊 廉

2. 事業説明：ナラティブブック秋田事業説明

ナラティブブック秋田運営委員会
委 員 伊藤伸一

3. 基調講演

「地域を多職種でつなぐ

～語り継ぐいのちとものがたり～

一般社団法人ナラティブ・ブック 代表理事
医療法人社団ナラティブホーム 理 事 長
ものがたり診療所 所 長 佐藤伸彦

4. 地域の医療・介護：

ナラティブブック秋田のもつ「ちから」

由利本荘医師会 副 会 長 伊藤伸一

5. パネルディスカッション：

ナラティブブック秋田のもつ「ちから」

モデレーター 伊藤伸一

事例報告「訪問看護師の立場から」

ナラティブブック秋田運営委員会
委 員 鈴木知栄子

事例報告「介護支援専門員の立場から」

ナラティブブック秋田運営委員会
委 員 菊池幸恵

情報共有におけるICTの活用

東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学講座
特任研究員 岡崎光洋

ディスカッション

6. 閉会の辞

由利本荘医師会会長・講師の紹介



(渡邊 廉 会長)



(伊藤伸一 副会長)



(佐藤伸彦 氏)



(鈴木知栄子 看護師)



(菊池幸恵 介護支援専門員)



(岡崎光洋 氏)

説明会場の様子

